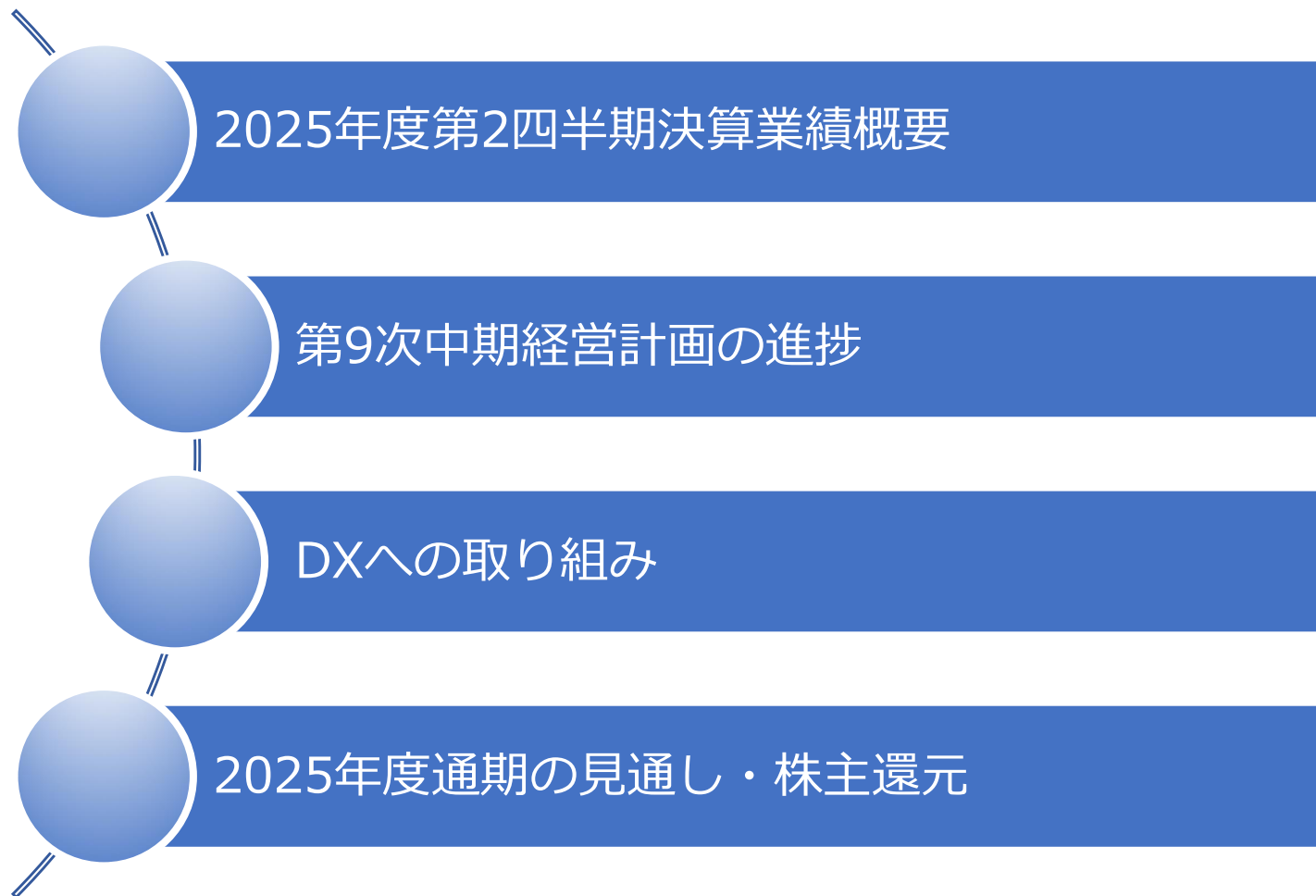


株式会社ビー・エム・エル

2025年度第2四半期 決算説明会

2025年11月7日
代表取締役社長
近藤 健介

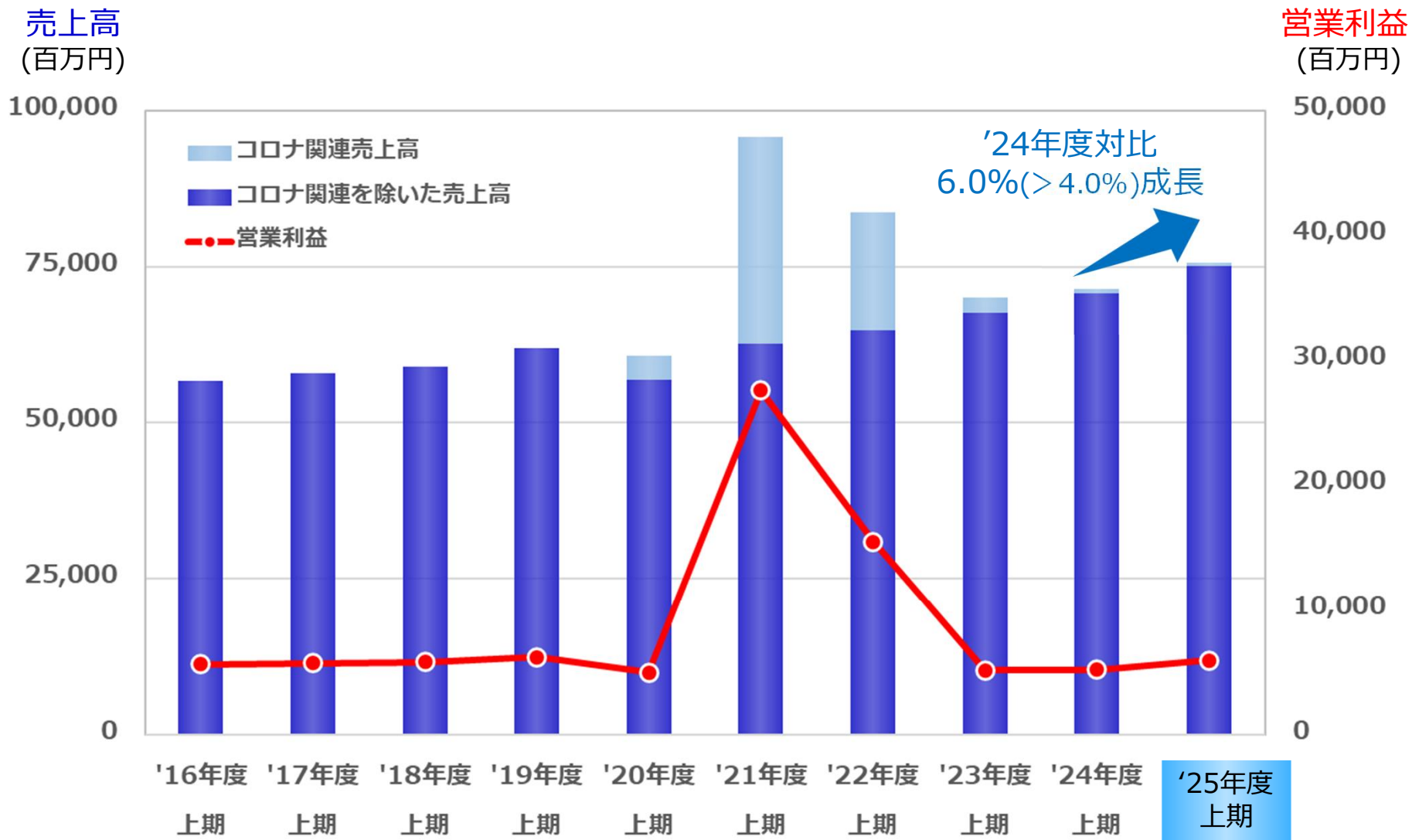
目次



- 2025年度第2四半期決算業績概要
- 第9次中期経営計画の進捗
- DXへの取り組み
- 2025年度通期の見通し・株主還元

2025年度第2四半期決算業績概要

新規獲得に加え収益性向上への取り組みで増収・増益

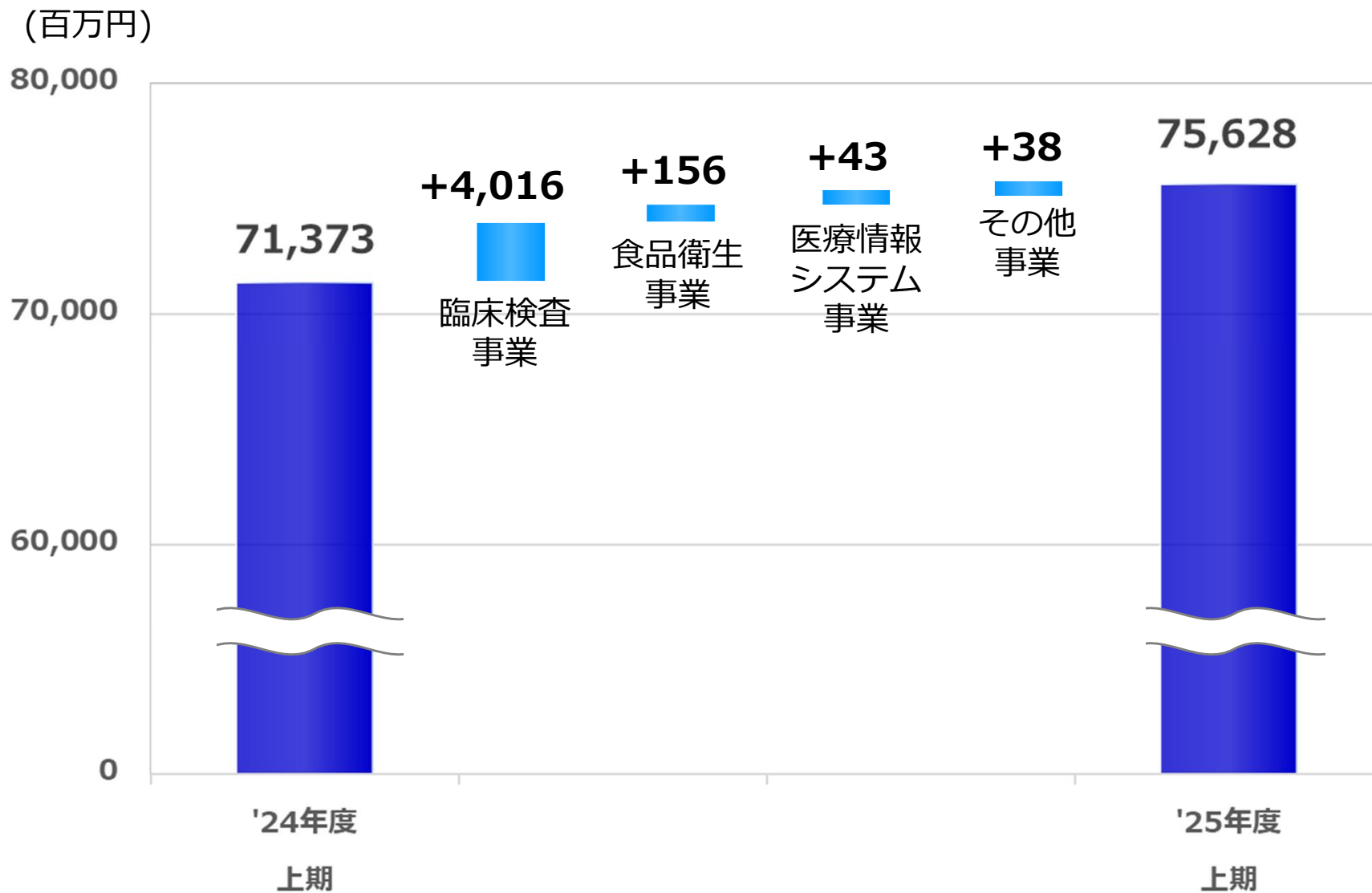


前年度業績比較表

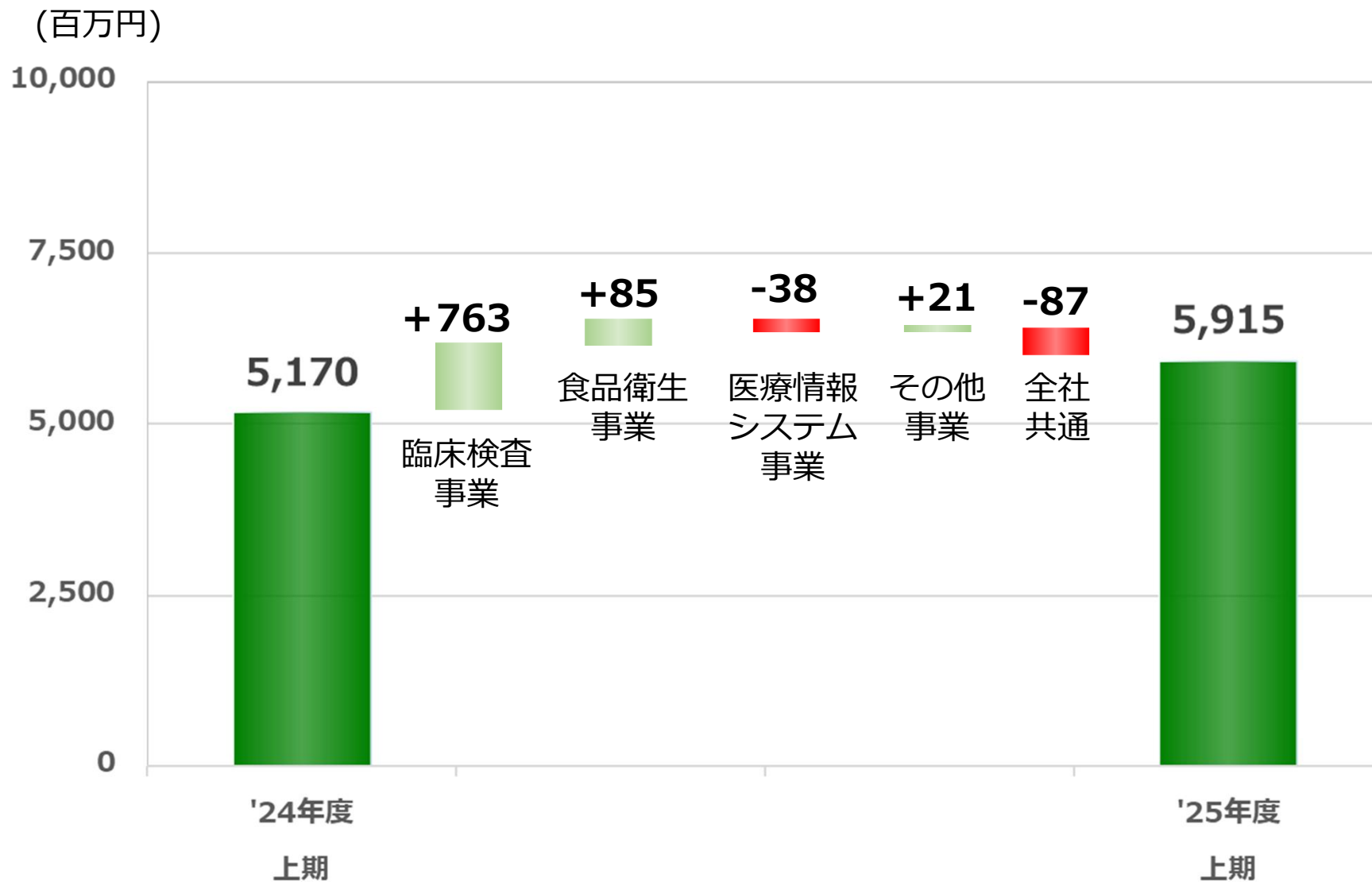
(百万円)

	'24年度 上期	'25年度 上期	増減額	増減率
売上高	71,373	75,628	4,254	6.0%
検査事業	68,025	72,197	4,172	6.1%
臨床検査	65,665	69,681	4,016	6.1%
食品衛生	2,360	2,516	156	6.6%
医療情報システム	2,622	2,665	43	1.7%
その他事業	726	765	38	5.3%
営業利益	5,170	5,915	744	14.4%
経常利益	5,359	6,118	758	14.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,426	4,219	792	23.1%
EBITDA	8,450	10,143	1,692	20.0%

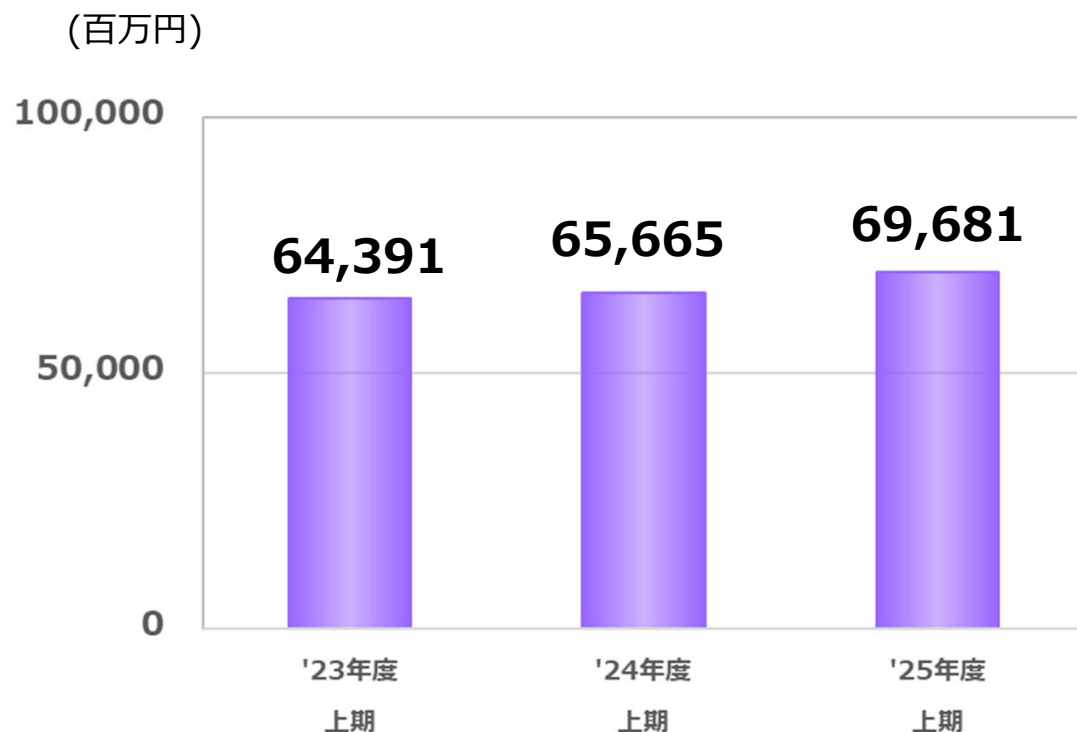
売上高 前期比 42億54百万円 (6.0%) 増収



営業利益 前期比 7億44百万円 (14.4%) 増益



売上高 696億81百万円
 前期比 40億16百万円 (6.1%) 増収

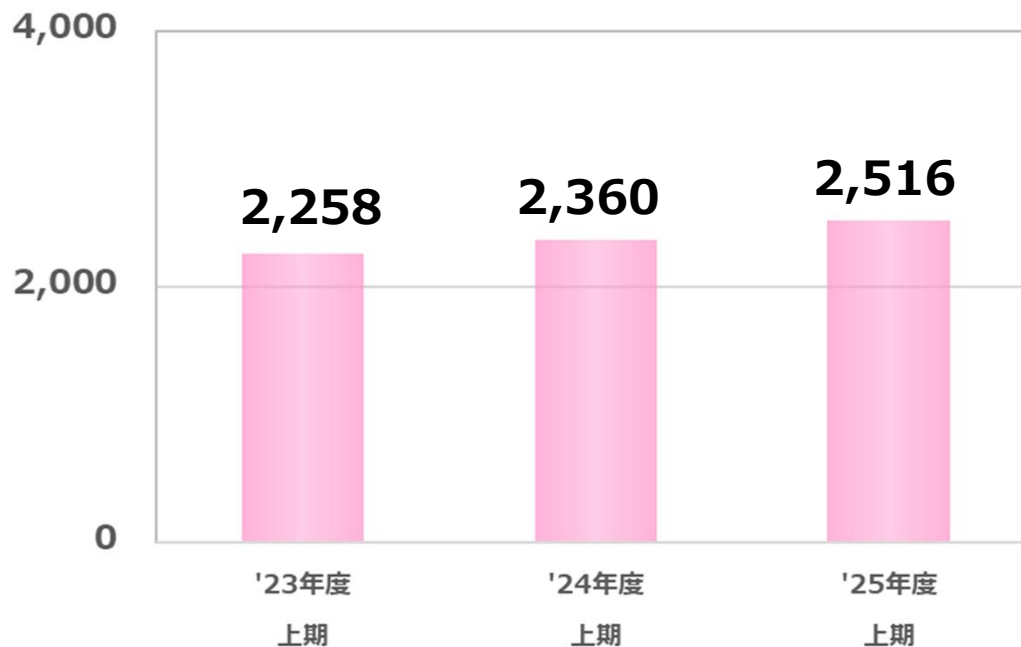


主なトピック

- ✓ 新規獲得
 - ・ 新規顧客を順調に獲得
- ✓ 販売価格の適正化を推進
 - ・ 不採算項目および不採算取引先の見直し
- ✓ 価格変動
 - ・ +0.82%の上昇

売上高 25億16百万円
前期比 1億56百万円 (6.6%) 増収

(百万円)



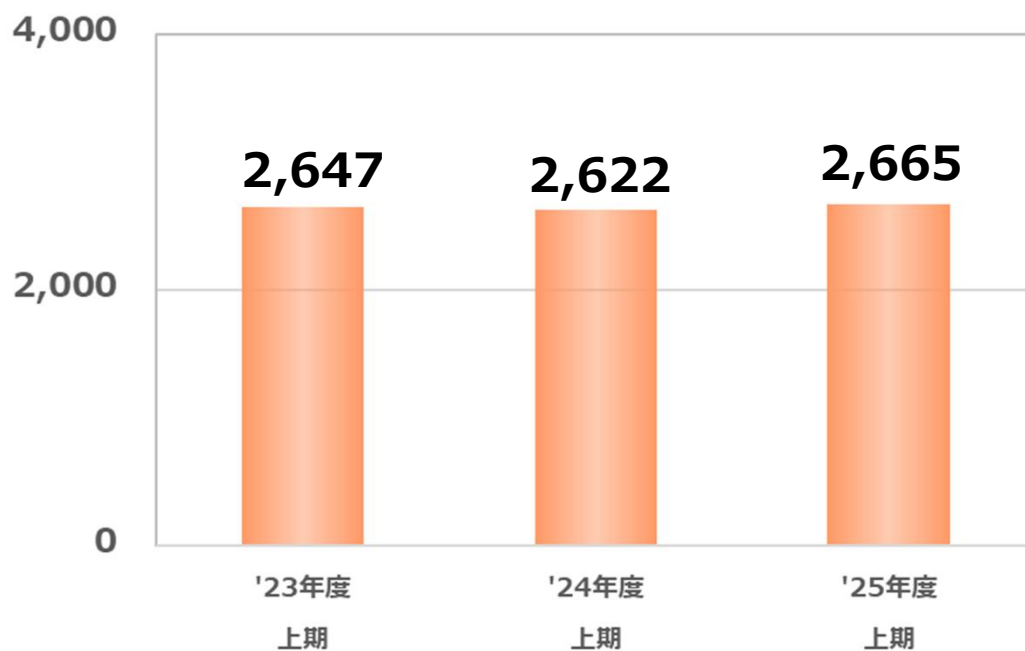
主なトピック

- ✓ 取引条件適正化の推進
 - ・ 大口顧客を中心に店舗点検の単価値上げを実施
- ✓ 食品コンサルティング
 - ・ 総合取引提案を推進したことにより店舗点検や認証業務の受注が増加

売上高 26億65百万円
前期比 43百万円 (1.7%) 増収

主なトピック

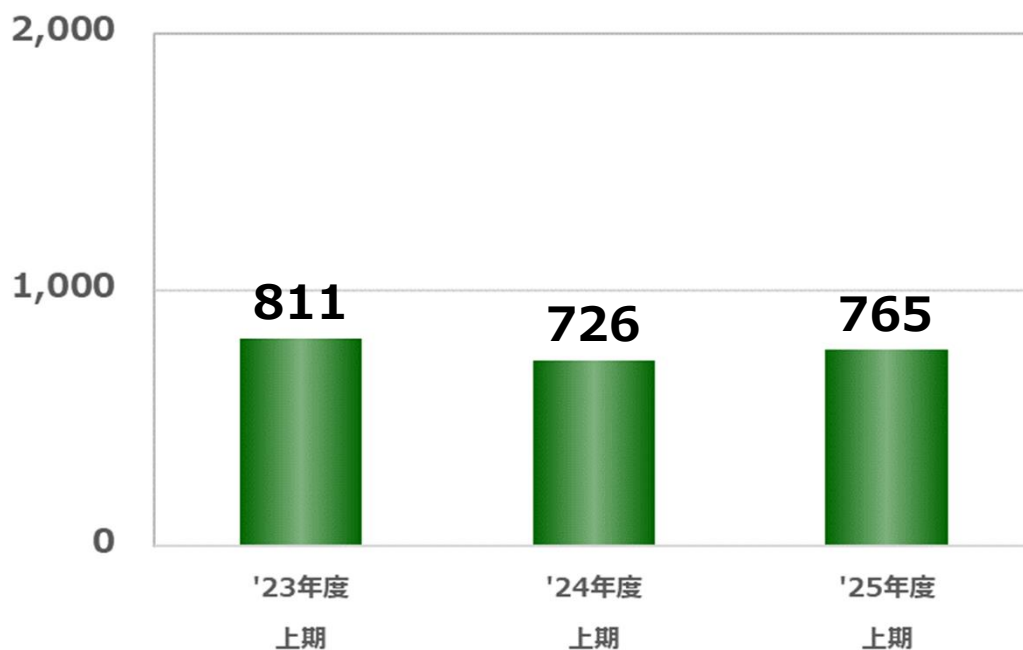
(百万円)



- ✓ リプレイス
 - ・ リプレイス需要に確実に対応

売上高 7億65百万円
 前期比 38百万円 (5.3%) 増収

(百万円)



主なトピック

- ✓ 調剤薬局事業
 - ・ 高額薬剤処方が増加
- ✓ 治験実施医療機関支援(SMO)業務
 - ・ ペインおよび泌尿器領域の新規症例獲得数が増加

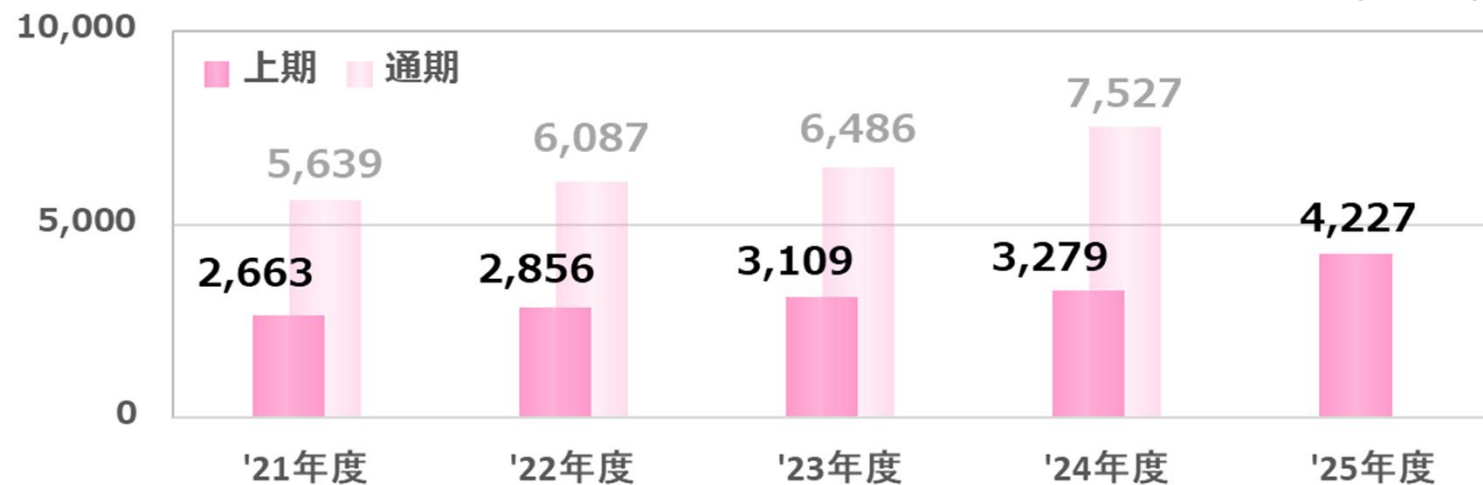
設備投資額

(百万円)



減価償却費

(百万円)



(百万円)

	'24年度 上期	'25年度 上期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,386	11,515	2,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	-13,380	-4,713	8,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	-2,579	-9,196	-6,617
現金および現金同等物の期末残高	63,765	61,533	-2,231

主な増減 の内容

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 : +1,280

減価償却費 : +959

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 : +7,757

有形固定資産の売却による収入 : +696

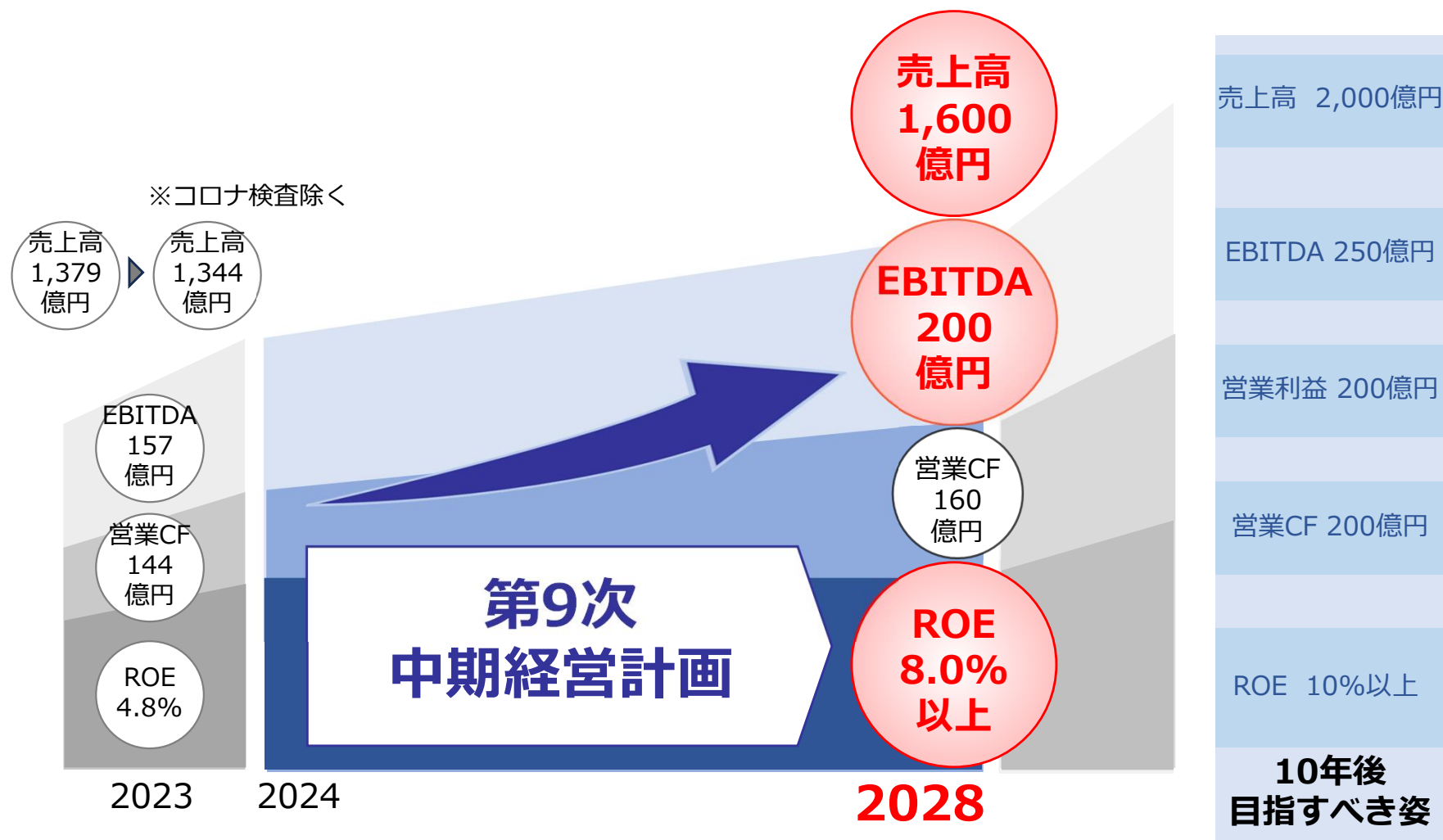
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額 : -1,171

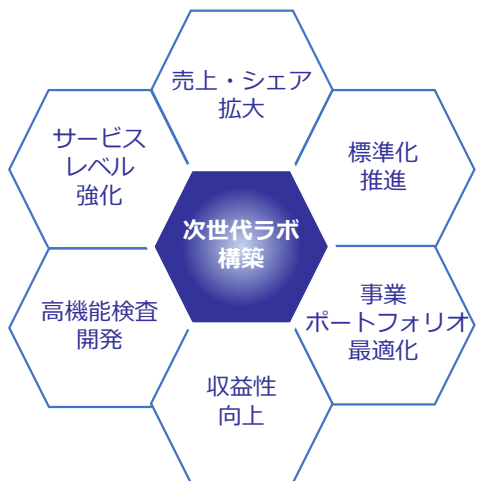
自己株式の取得による支出 : -5,382

第9次中期経営計画の進捗

- 安定した売上成長
- 新棟・DX・価格戦略効果による収益の飛躍的向上
- バランスのとれた成長投資と株主還元

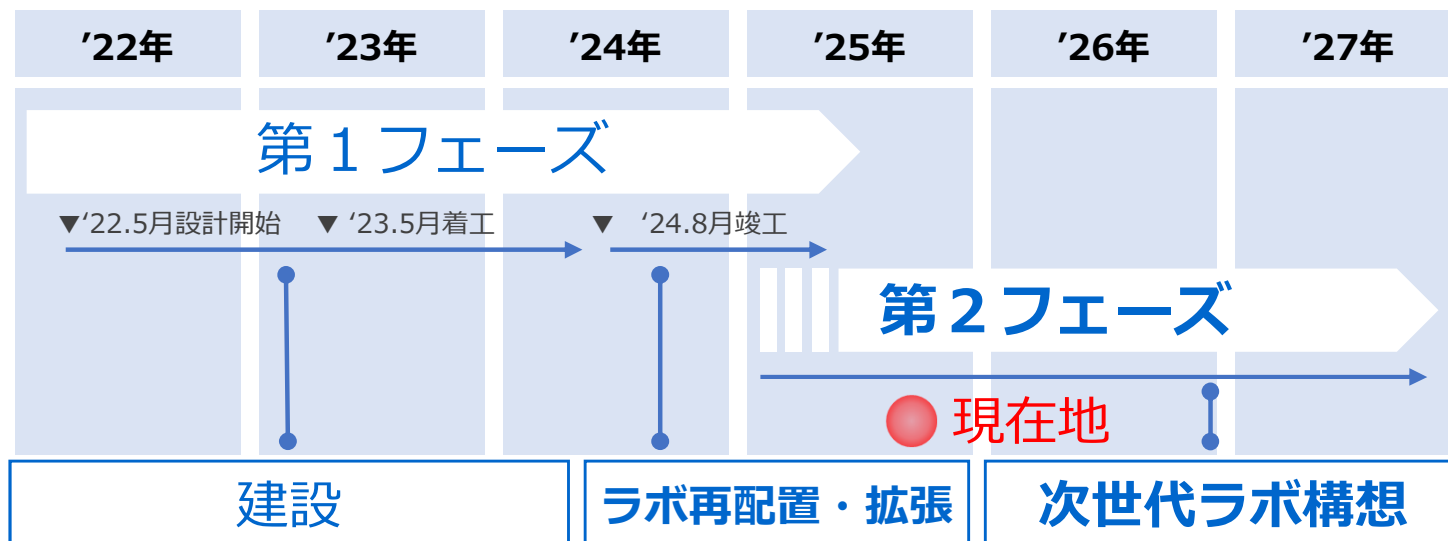


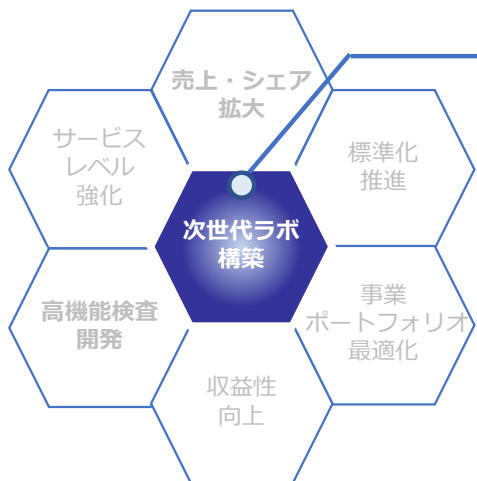




ロードマップ

- 第1フェーズ：新棟建設によるBCP/環境対策と検査スペースの拡張
- 第2フェーズ：将来の業容拡大に合わせた検査処理能力・効率の向上





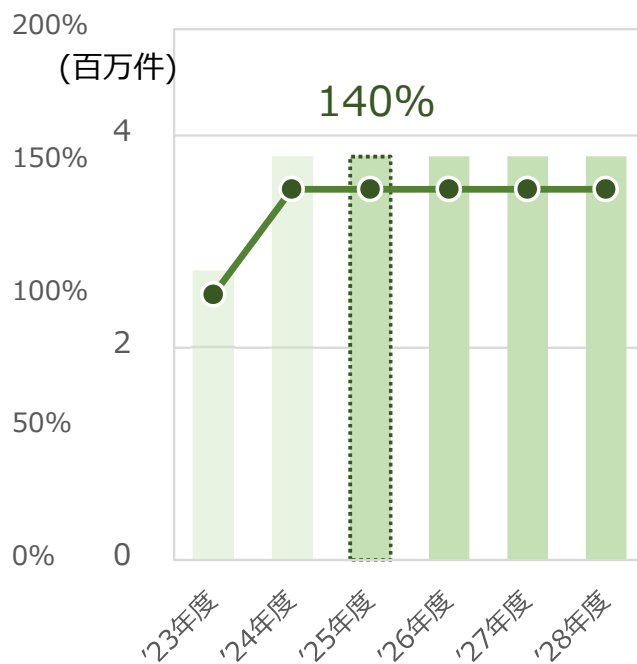
■ 新棟竣工に伴う検査キャパシティの拡張

✓ '23年度対比 **140~150%** の検査能力達成に向け
予定通り進捗

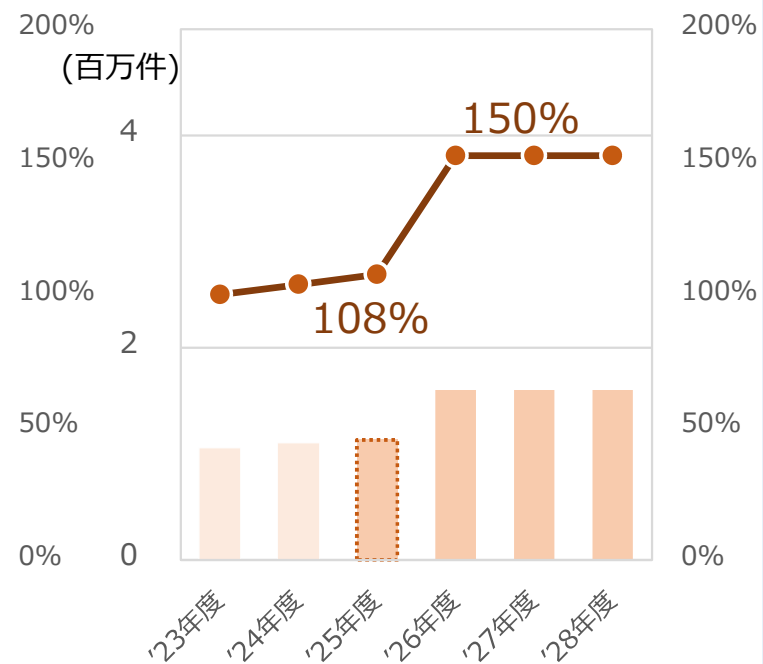
<ルーティン検査>

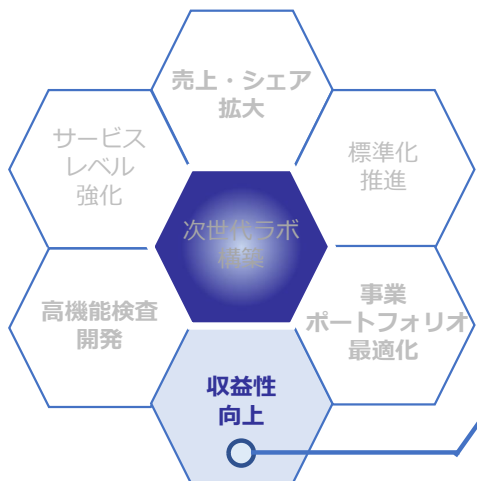


<微生物学的検査>



<ゲノム検査>





■ 新棟建設によるコスト削減

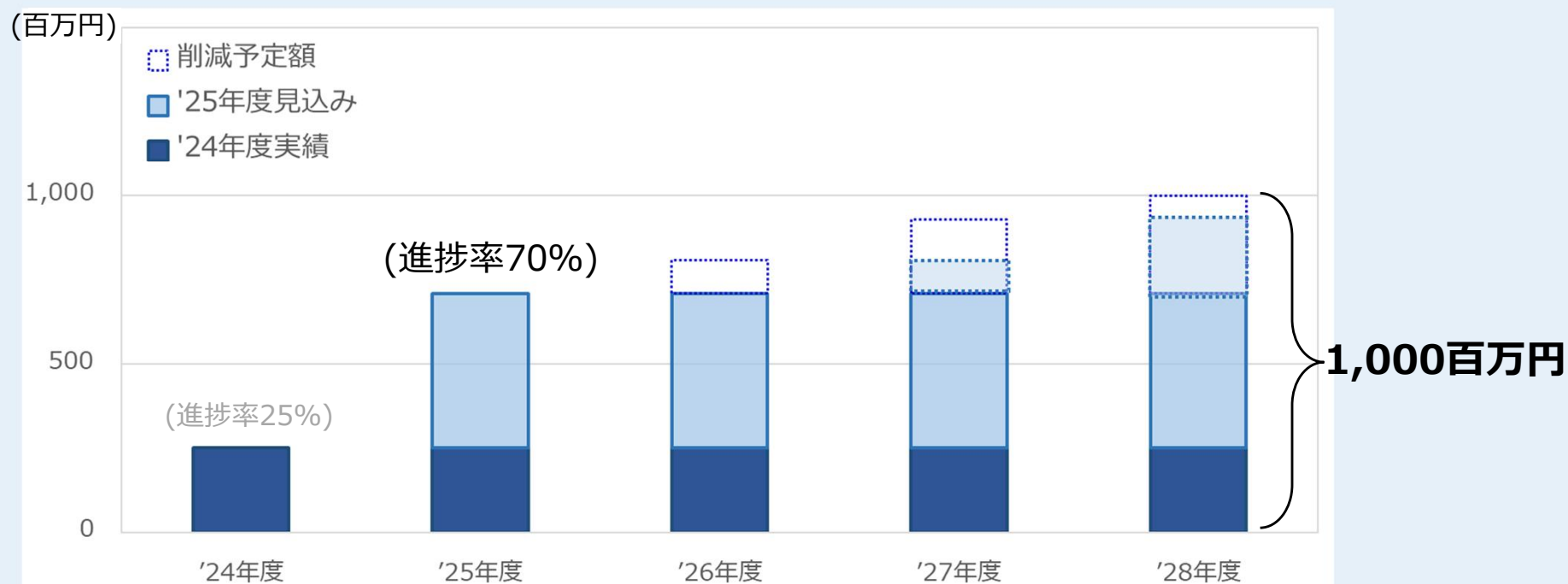
✓ 受付～報告工程：**1,000百万円**の削減に向け順調に進捗

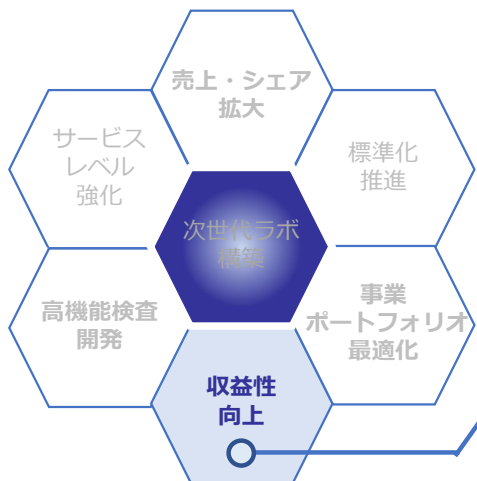
主な施策

「最新鋭機器導入」・「IT化」・「省人化」

→ '25年度末想定進捗率70% (およそ700百万円)

<コスト削減計画>





■ 臨床検査事業の採算性を抜本的に改善

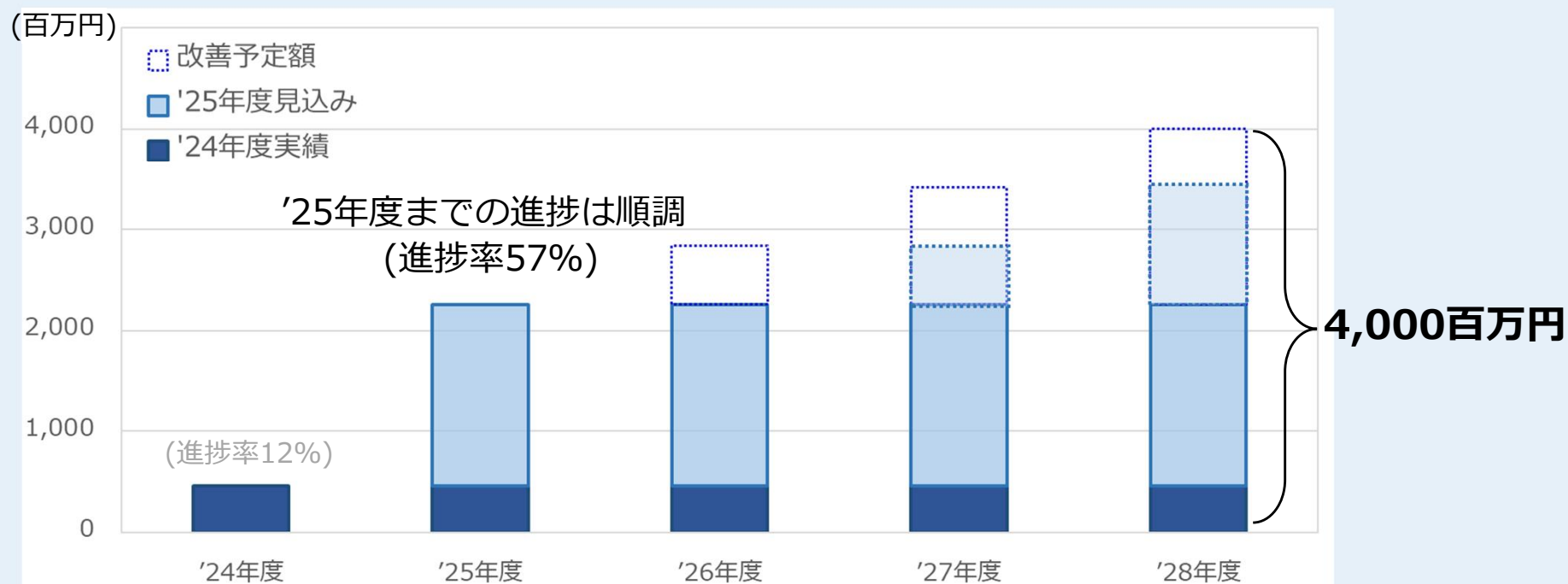
✓ 収益性向上：**4,000百万円**の収益改善に向け順調に進捗

主な施策

「不採算項目および不採算取引先の価格適正化」
 「集配体制の見直し」・「ラボ採算改善」

→ '25年度末想定進捗率57% (およそ2,300百万円)

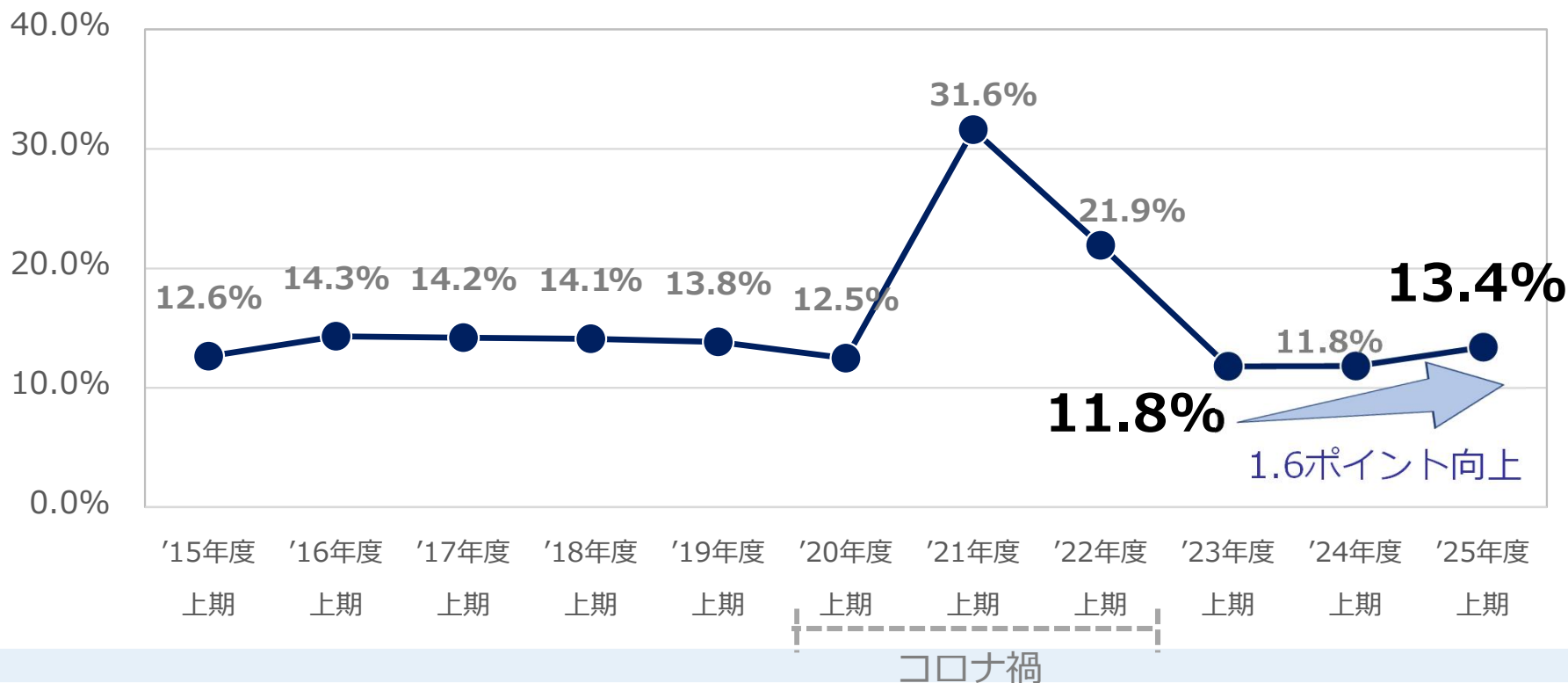
<収益改善額>

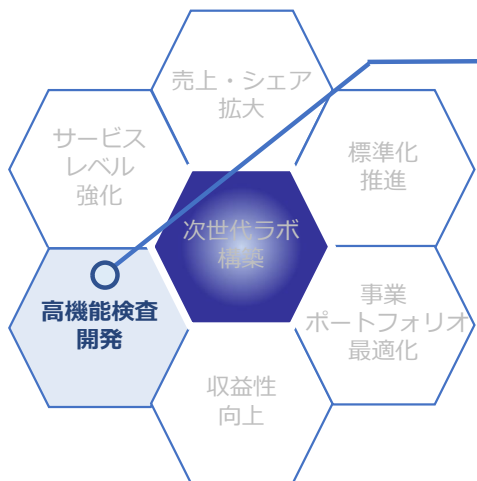


■ 収益性向上計画

- ✓ EBITDAマージンは'23年度をボトムに向上
- ✓ 収益性向上に取り組み早期にコロナ禍前の水準まで回復をめざす

<EBITDAマージンの推移 >





■ ゲノム検査ラインアップの拡充

✓ 新規検査項目：**35項目**を受託開始（'24年4月～）

✓ '28年度に**140億円**の売上高をめざす

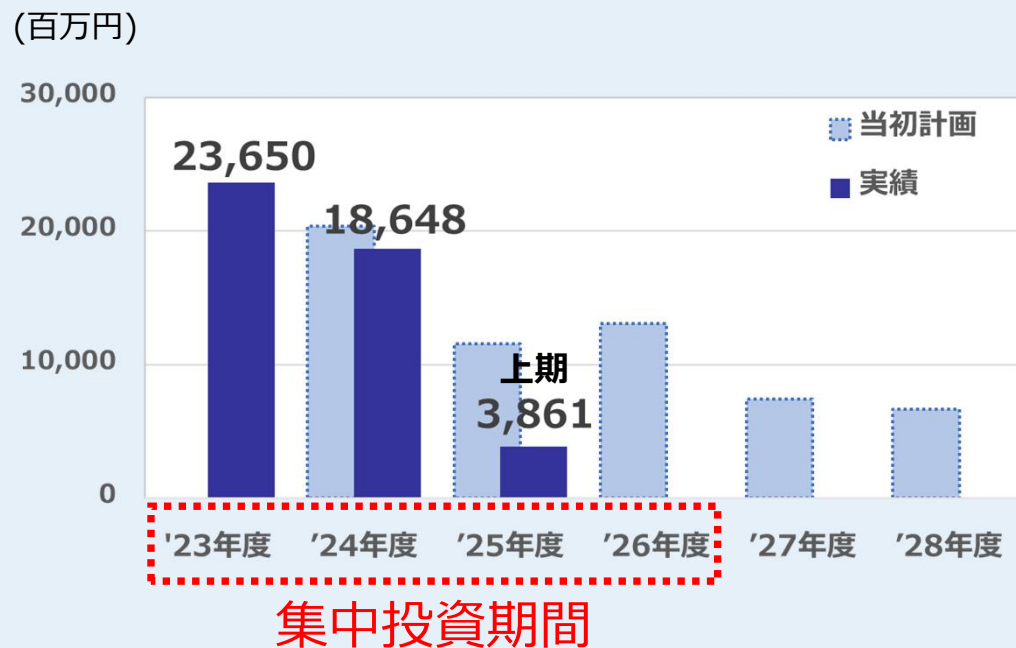
<新規検査項目の概略>

分野	項目数	主な検査項目
悪性腫瘍	11	へムサイト 等
遺伝性疾患	18	家族性高コレステロール血症の遺伝子変異解析 等
感染症	1	STDマルチ定性/PCR
遺伝性腫瘍	5	ACTRisk Care 等

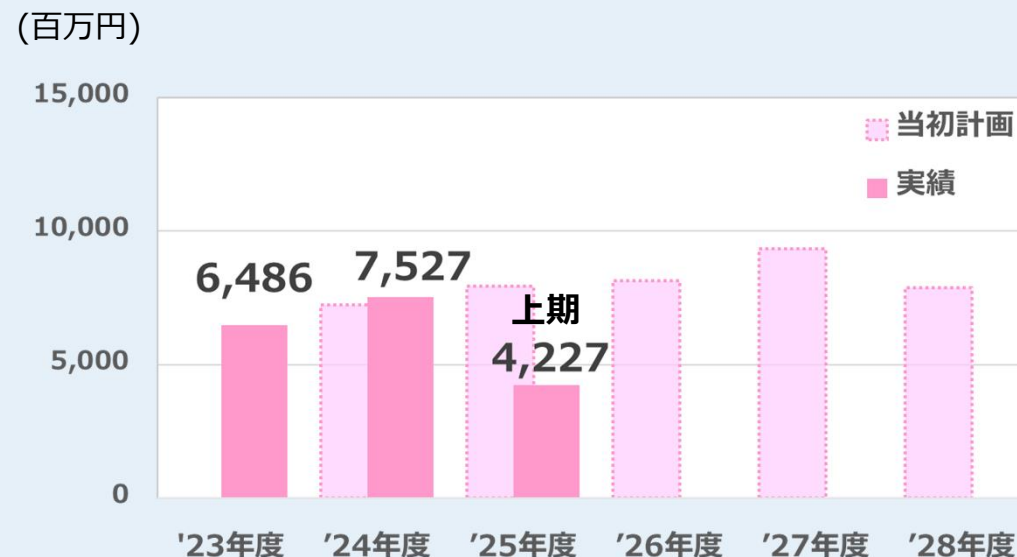
■ 当初計画通りに進捗

- ✓ PCL盛岡ラボ、BMLフード・サイエンス札幌ラボの建設に着手
但し、集中投資期間の設備投資額・減価償却費計画に大きな変更はなし

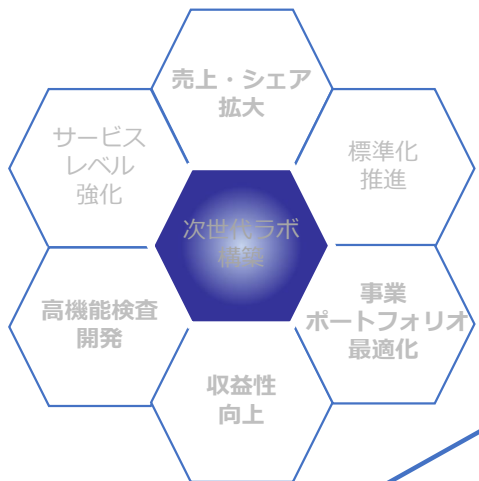
<設備投資額>



<減価償却費>



DXへの取り組み



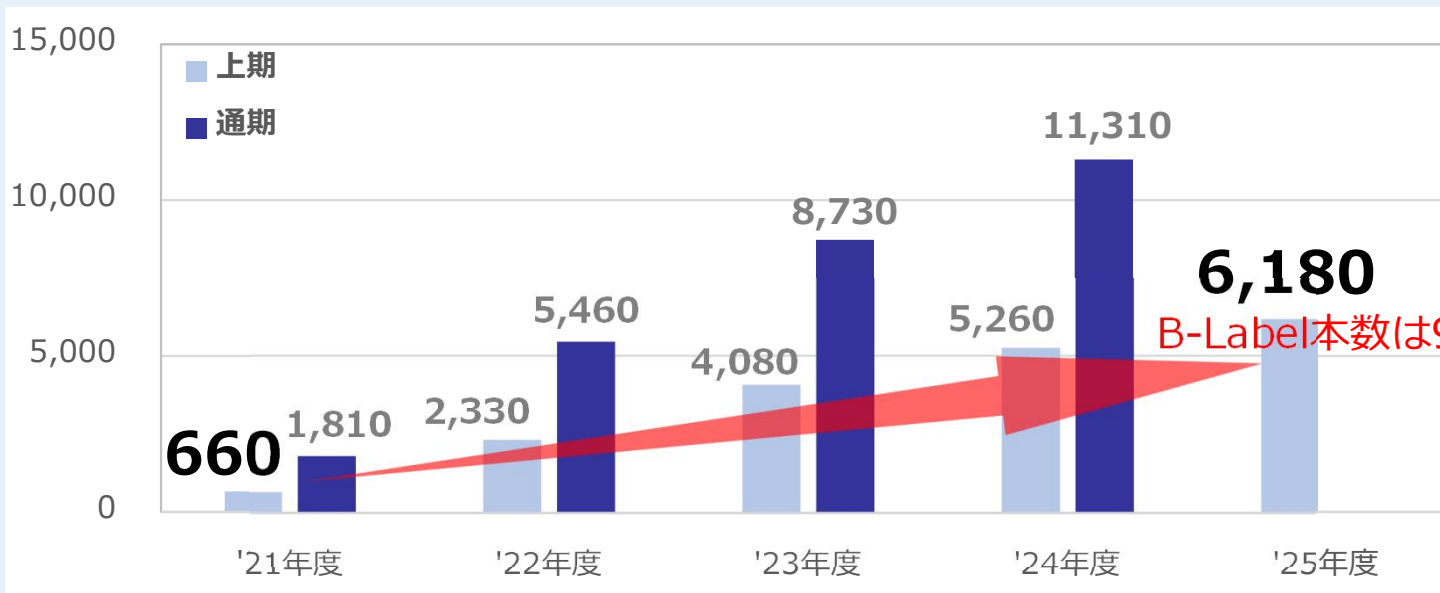
DX

■ B-Label*による集配関連業務の削減

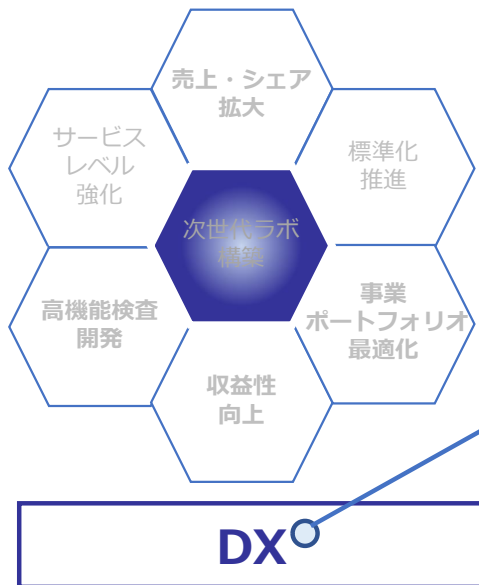
- ✓ 段階的に全国展開を推進
- ✓ B-Label検体数は'21年対比で**9.4倍**に増加
→ 受付部門人員数の**10%**削減を実現

* 患者属性・検査依頼情報が紐づけられたバーコード付き検体ラベル

(千本) <B-Label検体数の推移>



B-Label本数は9.4倍に増加



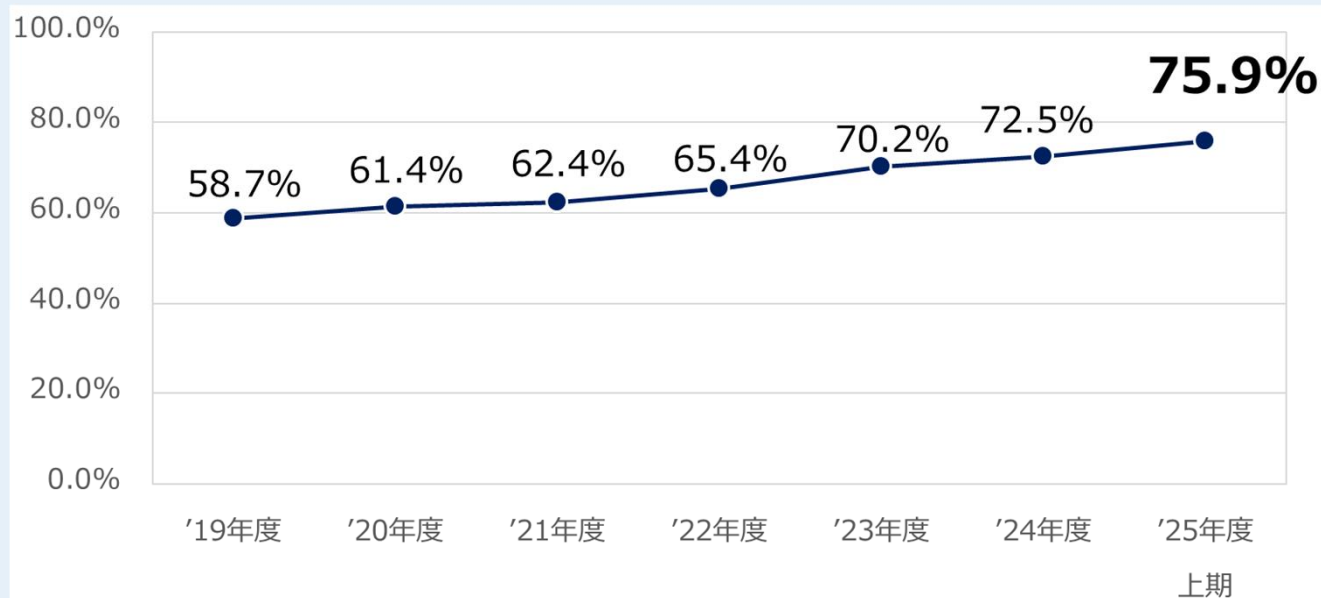
■ 検査依頼のオンライン化推進

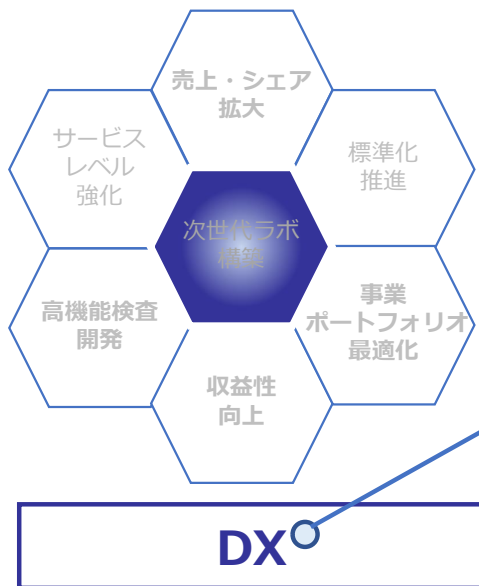
- ✓ 顧客：依頼作業と個人情報流出リスクの軽減
- ✓ 当社：受付業務の負荷を軽減

■ 目標受託率

✓ **80%以上**

＜検査依頼のオンライン受託率推移＞





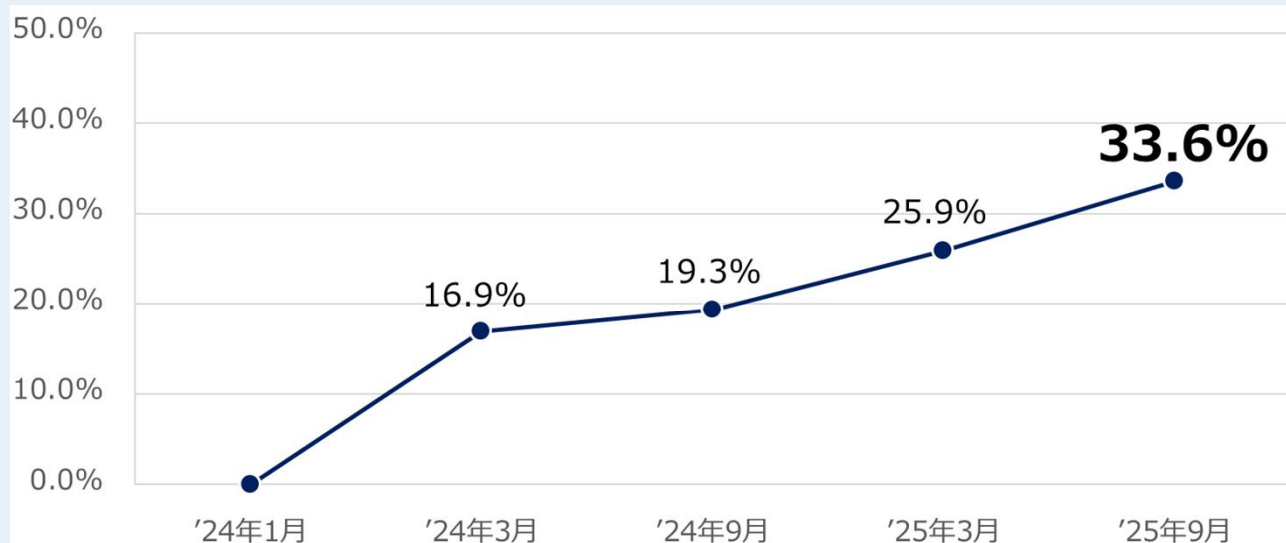
■ 請求書の電子化推進

- ✓ 顧客：請求書を早期に受領、保管業務を削減、紛失リスクを解消
- ✓ 当社：発送業務の負荷を軽減

■ 目標導入率

✓ **50%以上**

＜電子請求書導入率の推移＞



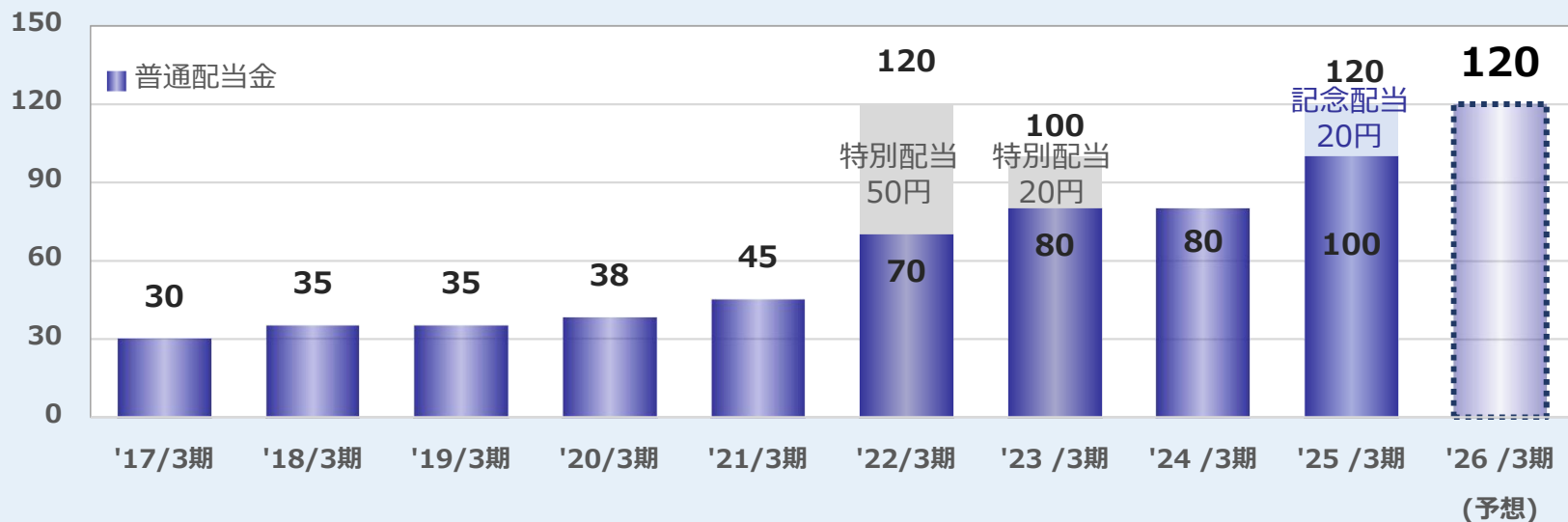
2025年度通期の見通し 株主還元

- 期初計画を据え置く
- 新棟関連費用(減価償却費)の増加に伴い減益予想
- 一方でEBITDAは、180億円で11億円の増加

	'24年度	'25年度 計画	増減額	増減率	(百万円) '25年度 上期実績	進捗率
売上高	143,191	148,000	4,809	3.4%	75,628	51.1%
検査事業	136,219	140,800	4,581	3.4%	72,197	51.3%
臨床検査	130,925	135,300	4,375	3.3%	69,681	51.5%
食品衛生	5,294	5,500	206	3.9%	2,516	45.7%
医療情報システム	5,478	5,700	222	4.1%	2,665	46.8%
その他事業	1,493	1,500	7	0.5%	765	51.0%
営業利益	9,364	9,000	-364	-3.9%	5,915	65.7%
経常利益	9,970	9,600	-370	-3.7%	6,118	63.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,263	6,000	-263	-4.2%	4,219	70.3%
EBITDA	16,900	18,000	1,100	6.5%	10,143	56.4%

- 第9次中期経営計画の還元方針
 - ・ 配当性向60%以上かつ1株あたり**120円以上**
- '26年3月期の配当金は普通株式1株につき年間120円を予想
(配当性向予想 '26年3月期78.0%)
- 自己株式の取得5,300百万円 ('25年8月12日実施済)
(総還元性向予想 '26年3月期166.0%)

(円) <配当金の推移>





BML

*Expanding
with
Passion
2028*

Appendix

社会

■ プラチナくるみん認定取得



→ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの浸透に向けた取組みとして、「男性社員の育児休業取得促進」や「育児休業取得者の職場復帰支援」、「復帰後のキャリア形成と子育ての両立」に積極的に取り組んでいます

■ えるぼし認定取得



→ 企業の持続的な成長に向けた重要な戦略の一つとして女性活躍推進を位置づけ、管理職候補者の育成や、全社員の意識変革に向けた「ダイバーシティ研修」の実施、「BML Women's Workshop」の活動等を通じて、女性活躍推進の取組みを進めています

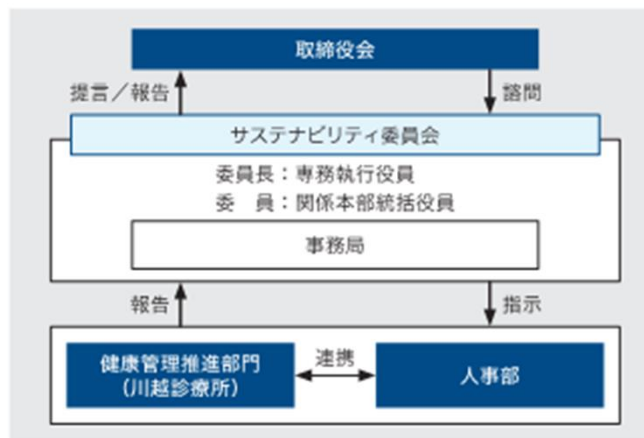
健康経営

■ BML健康宣言

【豊かな健康文化を創造します。】

ビー・エム・エルグループは、この企業理念を実現するために、職員一人ひとりが健康第一の風土醸成を通じて、健康経営を推進し、豊かな健康文化の創造に貢献することを宣言します。

■ 健康経営推進体制



■ 『健康経営優良法人 ～ホワイト500～』 に 3年連続で認定されました



健康経営

- 産業医監修の下、各種KPI(指標)とその目標値を設定し、達成に向けて取り組んでいます

評価指標		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025目標
定期健康診断受診率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
適正体重の割合 (BMI 18.5~25未満)	男性	61.2%	64.7%	63.1%	61.4%	63.0%
	女性	64.9%	69.2%	65.1%	65.9%	67.0%
非喫煙率		78.1%	78.8%	79.6%	80.0%	82.0%
運動習慣のある従業員		15.4%	16.2%	14.7%	18.1%	17.0%
ストレスチェック受検率		71.7%	86.6%	87.4%	92.3%	80.0%
月間所定外労働時間 (管理職含む)		21.0時間	16.8時間	16.2時間	16.6時間	18.3時間
年次有給休暇取得日数		10.9日	12.1日	12.3日	12.4日	12.0日
健康増進研修参加率		98.2%	99.5%	98.9%	100.0%	100.0%
メンタルヘルス研修		97.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%
プレゼンティーズム ^{※1}		—	80.8%	80.2%	79.0%	83.0%
アブセンティーズム ^{※2}		—	2.4日	2.6日	2.9日	2.3日
ワークエンゲージメント ^{※3} (ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度)		—	3.02	3.01	2.86	3.20

※1 プレゼンティーズム : 出勤しているものの、健康上の問題によって完全な業務パフォーマンスを出せない状況

※2 アブセンティーズム : 傷病による欠勤 ※3 ワークエンゲイジメント : 仕事に対する活力・熱意・没頭



*Expanding
with
Passion
2028*

< 将来に関する記述等についてのご注意 >

本資料に記載されている将来に関する見通し、戦略、計画に関する記述等は、当社が現在入手している情報に基づく本資料作成時点での種々の前提に基づいた当社の判断であります。従ってこれらの記述・前提は、その内容の正確性を保証したり、将来の計画数値、施策の実現を確約したりするものではありません。今後、様々な要因によって記載の見通しと異なる結果を生じえるリスクを含んでいます。また、今後予告なしに変更されることがあることをご了承下さい。